

おおづまち議会だより OZU

2024
108号

今月の定例会は

12月

3月

9月

6月

本会議動画配信
配信中



議会だよりが
読めるアプリ

マチイロ



ネットワーク大津での田植え
緑ヶ丘保育園

志は高く、ハードルは低く

第3回 立候補の手続きは大変？

「次回はずいぶん、投票できる選挙を！」少しでも多くの人に「その気になってもらう」ための本コラム。
第3回目は、なんだか大変そうな「立候補の手続き」についてです。

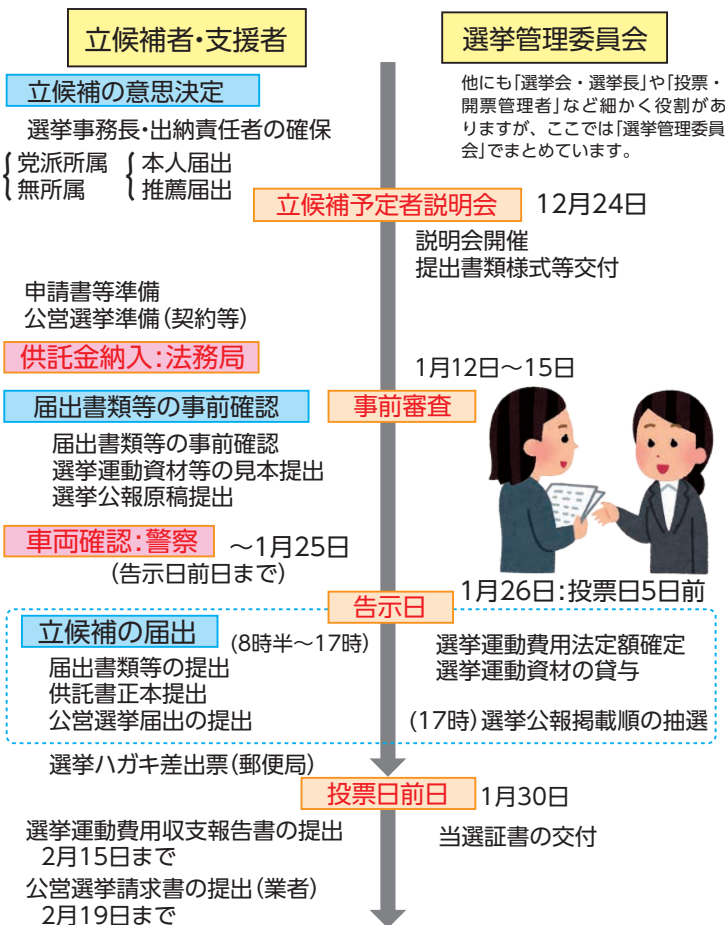
これまでに書いたように、選挙運動の方法はみんな違うため、選挙準備の時期・内容も違います。しかし、立候補とその後の手続きに必要なことは決まっています。今回はこの手続きについて概要を説明します。

下図は、令和3年大津町議員選挙の手続の流れをもとに作成したもので、立候補予定者説明会の前から準備を始める場合を想定しています。



立候補とその後の手続きの流れ

日付は令和3年選挙の例



【立候補の意思決定】

立候補する立場として「党派所属」や「誰かに推薦された形」をとる場合には、後で届出に必要な確認書が必要になります。

また選挙には「選挙事務長」「出納責任者」が必要です。事務長は選挙事務を運営し、出納責任者は選挙運動費用収支に責任を負います。信頼できる人をお願いすることが考えられますが、候補者自身が担当することもできます。

【告示日1カ月くらい前】

このころ「立候補予定者説明会」があります。説明会ではたくさんの資料と書類・様式が配布され、多くの説明がありますが、この説明をしっかりと聴けば難しくありません。

受け取った書式を使って申請書の準備をします。また、選挙カーやポスター・ビラを公費負担とする「公営選挙」の場合はこの時期に契約などの準備をします。

「供託金」は法務局に納入後「供託書正本」を受け取ります。これが証書となります。提出は、告示日の届出時でも良いのですが、できれば事前審査時にまとめて提出したほうがよいかもしれません。納入手続きはネットでも可能ですが、書類は郵送であるため数日かかります。

【告示日2週間くらい前～告示日前日】

このころに届出書類の事前確認があります。これまでに準備を済ませおくと安心です。選挙公報の原稿や、選挙活動で使用するポスター、ハガキなどの見本も確認のため提出します。また、告示日前日までに選挙カーの確認を大津警察署で行います。

【告示日、投票日、その後】

事前確認ですべて書類の提出準備が済んでいれば、告示日当日は受付だけです。そのときに選挙運動に必要な選挙7つ道具を受け取り選挙運動を開始します。

選挙の終了後は、収支報告書の提出を必ずしなければなりません。また、選挙公営(公費負担分)の請求にも期限があります。

まとめ

立候補の手続きは、書類がいっぱい大変そうですが、内容は難しいものではありません。難しいと思ったときも選挙管理委員会がいて教えてくれます。



今後の掲載予定 第4回 選挙運動ってどうやるの？

議会活性化特別委員会 行政視察レポート

視察テーマ

1. 議員定数見直し (岩手県陸前高田市)
2. 議会改革全般 (岩手県奥州市)
3. 議員報酬見直し 他 (岩手県北上市)

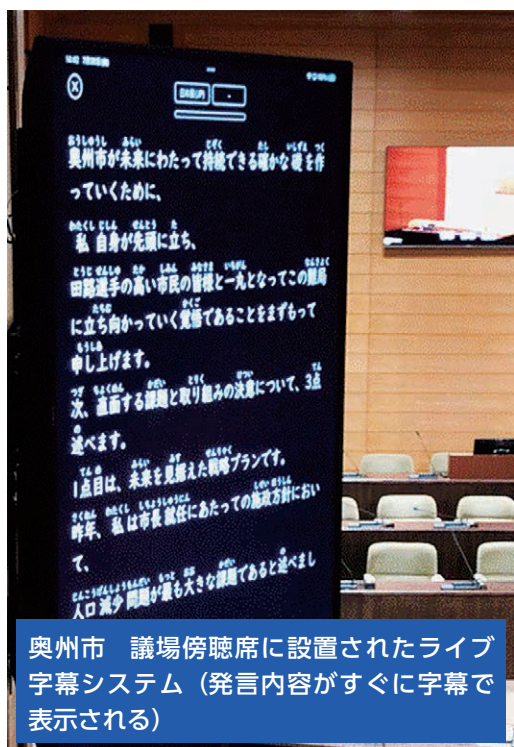
議会活性化特別委員会は、5月8日から10日に岩手県の3市の取り組みを視察しました。

陸前高田市では、議員定数の見直しの経緯や影響について。東日本大震災の前に定数20人を18人に減らすことが決まっており、震災後実施したが、そのことで被災者市民の声を十分に聴くことができたかとの後悔があったとのこと。しかし、その後もさらに人口減少が続く16人に削減しました。削減の影響として、多様な意見が出てこないことや、合併前の旧町村の代表性が確保できないことなどの話がありました。

奥州市では議会改革全般について。議長マニフェストや、生成AIの活用、議員間討議を効果的にするためのガイドラインを策定、ライブ字幕システムなど、スピーディかつ先進的に改革を進めていました。

北上市では議員報酬と定数の見直しなどについて。

2つは別々に検討されていましたがそれぞれが極めて論理的・合理的に、議会と市民が両輪で議論する丁寧なステップで結論を導いていました。



奥州市 議場傍聴席に設置されたライブ字幕システム（発言内容がすぐに字幕で表示される）

議会活性化特別委員会 意見交換会

意見交換会テーマ

議員定数と報酬について

1. 公募に応じられた町民の皆様
2. 大津町PTA連絡協議会

議会活性化特別委員会は『議員のなり手不足対策』をテーマに活動が続けています。

前号で紹介した区長会執行部に続き、さらに町PTA連絡協議会と公募に応じていただいた町民の人たちと議員定数や報酬に関して意見交換を行い、3回で30人超の人から多数の意見をいただきました。

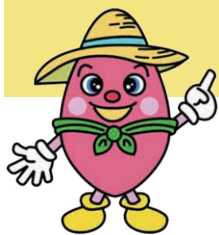
テーマである「定数や報酬の増減」に関することのほか「休日議会」などの議会運営に関するもの、「議会の情報発信」「若い世代でも議員になれるような環境整備」など多様な意見がありました。

今回いただいた意見は今後の委員会活動の参考にし、さらに委員会活動の幅を広げていきたいと考えます。



補正額**4億8401万円**を追加し

総額**190億4649万円**



6月定例会議

会期期間9日間
6月5日～6月13日

6月定例会の議案等は

予算…………… 2件
条例について…………… 1件
その他…………… 4件

いくつかを町の皆さんの声と共にお知らせします。

— 予 算 —

物価高騰対応定額減税補足給付金

～対象となる人など、詳細は
「広報おおづ7月号」4ページに～

3億6,755万円

— 条 例 —

重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

一部申請の
手間が
なくなります

現在

医療機関等で一旦、医療費を支払い、町へ申請。

令和6年8月から

自己負担額(外来1,000円、入院2,000円)までを医療機関で支払う。町への申請は不要。

「広報おおづ7月号」15 ページにも記載

意見書

「国民健康保険制度の構造的課題の
抜本的解決を求める意見書」

- (1) 国民健康保険制度の構造的な課題などへの抜本的な対策により被保険者に過大な負担を生じさせない制度とすること
- (2) 保険者が行う国保特別会計への公費支援の実施に対するペナルティ制度を実施しないこと

継続審議

6月定例会で追加提案された「町営あけぼの団地5号棟改修工事」の請負契約について、入札に官製談合の疑い情報があり委員会で継続審議となりました。

6月13日18日と2日間にわたり審議しましたが、談合の証拠は確認されないとの結果を、6月27日臨時議会にて委員長より報告されました。



議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

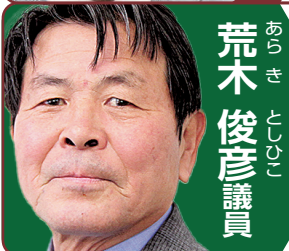
本会議動画配信



やまべ りょういち
山部良二議員

問 重度心身障害者医療費の現物給付について受給者への周知、受給者証の発行などスムーズな移行はできるのか。

答 広報おおづ7月号や、7月末に受給者証を送るときに、対象者に制度の概要をお知らせするなど十分な周知に努めたい。



あらき としひこ
荒木俊彦議員

問 医療費の一部負担金と自己負担額の違いについて確認したい。

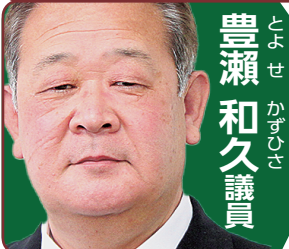
答 一部負担金は、保険給付を受ける者が負担すべき額のことです。70歳未満は3割負担、70歳以上 75歳未満は2割負担などです。自己負担額は、受給資格者が負担すべき額のことです。



さとう ましひろ
佐藤真二議員

問 ひとり親家庭などの医療費助成についても償還払いから現物給付にならないかという議論がされてきたが検討されたのか。

答 ひとり親家庭などの医療費助成についても検討しており、本年度中に現物支給にできるよう準備をしている。



とよせ かずひこ
豊瀬和久議員

問 地域水道施設復旧事業費補助金は水道施設を整備するための調査設計費だが、今後、実際に水道施設を整備する時にはどのような補助内容となるのか。

答 地元の負担が少なくなるよう、活用できる補助事業がないか確認を行っている。



ながた かずひこ
永田和彦議員

問 小学校屋根改修や中学校大規模改修について、耐用年数に対して、どれだけ経費をかけなくてはならないかなどの改修メンテナンスのトータルコストを明確にしていきたい。

答 大きな施設の維持管理は、計画的に実施していかなければならないということで、公共施設個別計画の中で計画的に進めている。



ときまつ ともひろ
時松智弘議員

問 老人福祉センターの浴湯給水施設の補修で補正予算が計上されているが、予算を使う以上は利用者増につなげてほしい。施設利用促進などの周知はされているのか。

答 町からの委託事業も含め、地域福祉事業、介護保険事業など、社会福祉協議会との連携を図りながら事業全般の周知を行い施設の利用促進につなげていきたい。



たしろ げんき
田代元気議員

問 台湾東部沖地震の寄附金で人口千人に満たない自治体と3万人以上の自治体で同額の寄付だが、町村会で議論はなかったのか。

答 各自治体から10万円、残りを町村会が負担し、総額500万円を寄付することが町村会で決まった。

委員会レポート

経済建設



文教厚生



総務



総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

議会活性化

定例会総括

委員会レポート

一般質問

追跡レポート

大学生レポート

総務常任委員会	総務課 総合政策課 財政課 防災交通課 人権推進課 住民課 環境保全課 税務課 会計課 議会事務局
経済建設常任委員会	農政課 商業観光課 企業振興課 都市計画課 建設課 下水道課 工業用水道課 農業委員会
文教厚生常任委員会	福祉課 子育て支援課 介護保険課 健康保険課 学校教育課 教育施設課 生涯学習課

総務委員会 レポート

未来へつながる 施策・対策の推進を



真木水源地の現地調査

◎ 真木地区簡易水道組合の水源池枯渇により熊本地震復興基金を活用し、水道企業団と繋げた方針は理解できたが、水道使用料が高騰するなどの影響はないか。

▲ 現在の真木地区簡易水道組合の水道使用料は低く設定されている。今後は水道企業団が定める水道使用料を支払うことになるが、軽減措置など各種有利な補助がないか検討し、水道企業団や関係省庁とも協議していきたい。

**真木簡易水道復旧に
尽力を**

◎ 能登半島地震の支援に派遣する職員に対して被服購入費が予算計上されている。備蓄の仕組みは。

また、職員の被服は何をどのように整備しているか。

▲ 災害対応に関しては防災服のみ備蓄している。町には貸与規定があり業務上必要な部署に貸与している。

今回の派遣では環境の違いもあり必要な被服を個別に準備をした。現場対応がある部署には作業服、防寒着、長靴などを貸与しているが災害対応時はすべての職員が出動する必要があるので検討をする。

災害に対応する職員の被服の充実を



石川県で支援を行う町職員

経済建設委員会 レポート

施設や道路の整備へ向けて



交付金を活用した道路

◎ 一般財源からの財源 組替について、当初予算で計上できなかったのか。また、今まで電源立地交付金が交付されなかったことはあるのか。

▲ 電源立地交付金については、交付額が未確定のため補正予算にて計上している。

また、交付金は毎年交付されている状況にある。

◎ 電源立地交付金について

意見 交付金が見込めるのであれば当初予算での計上も検討して欲しい。

残業の申請は



申請の様子

◎ 時間外勤務の申請は どのような流れになっているか。

▲ 昨年度末までは、紙で申請していたが、4月から、電子決裁での申請が始まっている。基本的に、その日の終業時間前までに、部下から上司に対し、時間外に仕事をすることを「申請」が行われ、決裁権者がその必要性などを確認するなどしてから、「承認」している。

文教厚生委員会 レポート

適切な対応と啓発を

◎ マイナ保険証を利用するメリットは何か。

また、町内の医療機関の体制は整備されているのか。

▲ マイナ保険証を利用することで医療費の自己負担額が安くなり、本人が同意することで過去の受診状況や薬の情報が確認でき、治療に活用できる。

また、町内すべての医療機関でマイナ保険証は利用可能となっている。

マイナ保険証の メリットの周知を



保険証の代わりにマイナンバーカードで

マイナ受付

マイナンバーカードが
保険証として
使えます。



新型コロナウイルス 接種の状況は

◎ 新型コロナウイルス について、対象者と接種費用はどうなっているか。

また、対象者以外の人への対応は。

▲ 65歳以上の高齢者及び60歳以上で重症化リスクのある人が対象で、費用については、自己負担7千円となっているが、菊池郡市2市2町で7千円より抑える方向で協議している。

また、対象者以外については、任意接種となるため、全額自己負担で15300円程度となる。

対象 定期接種：65歳以上の方など
任意接種：希望する方

2024年4月以降、ワクチン接種は原則有料

定期接種	毎年秋冬に1回接種 (自己負担あり)
任意接種	全額自己負担で接種可能

※2024年3月31日で無料接種は終了

一般質問

町政を問う 6月定例会

一般質問に16人中11人が登壇



録画配信は顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。

町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信は行っています。

※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

※訂正 107号 12ページ

一般質問タイトル中「一般質問に16人中11人が登壇」とあるのは「12人が登壇」のあやまりでした。訂正し、お詫び申し上げます。

Q クーリングシェルター導入で熱中症予防を

A 公共施設の5ヶ所を指定、啓発にも取り組む



「クーリングシェルター」に指定された図書館ロビー

ときまつ ともひろ
時松 智弘議員



Q 日本での夏季熱中症発生件数は増加の一途をたどっている。県は昨年1601名の搬送者があり、農作業中に亡くなった人も出た。過去には人口比全国4位の搬送者数となった年もあり、新しい災害の様相すらある。環境省は地域の気候変動に基づく熱中症対策関連事業を進めるためクーリングシェルターの活用を提案している。県内で広がりを見せている。町も迅速に対応いただいていると思うが、熱中症予防啓発と民間との連携による体制づくりはどのように進めていくか。

A 国内の熱中症による死亡者数は増加傾向が続いている。地球温暖化の進行で、高温高湿の増加が見込まれ、熱中症被害がさらに増える恐れがある。それを踏まえ、国は熱中症特別警戒アラートの運用を開始した。熱中症リスクが高まった際の一時避難場所となるクーリングシェルターを町が指定できることから公共施設5カ所を指定する。熱中症特別警戒アラートが発表された際には、防災無線やホームページ、メールなどで情報発信を行う他、効果的な予防普及啓発を行いたい。

(町長)

その他の質問

- ・防災備蓄食の計画を見直し小中学校の教材や地域学校協働で活用できないか
- ・防災教育のため、ボードゲーム、絵本などを図書館や学校図書に充実出来ないか
- ・災害廃棄物仮置場の周知をごみカレンダーなどに掲載広報できないか

Q 計画的に道路舗装を進めるべき

A 地域と連携し道路整備を行いたい



桜丘区内の舗装が劣化している道路

その他の質問

- ・南杉水地域の通学路等の安全確保、渋滞対策、セミコンテノパークへのアクセス性の向上
- ・誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」の取り組み状況
- ・带状疱疹ワクチン接種への助成

とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



Q 桜丘区では道路用地の一部が現在も個人名義となっていて、箇所があり、道路舗装が経年劣化して、歩行者や二輪車が通行するときに滑りやすいなど安全面で支障がでている。

このような場合には、所有者不明土地の利用の円滑化に関する特別措置法により対応できる。予算措置も必要なので、計画的に道路の舗装整備を進めていくべきではないか。

A 寄附を受けなくても町が直接舗装できる可能性があり、現在その事業内容の調査及び活用方法を検討している。

道路が個人名義のため、舗装整備ができていなかった状況の解消に向けて、地域と連携しながら道路整備を行いたい。

(町長)

Q 町内の学校に冷水機の設置を

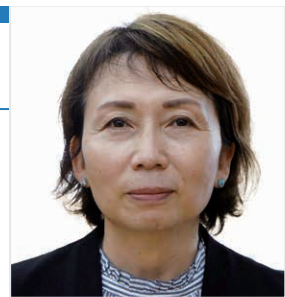
A 民間との連携を視野に入れ調査研究する



冷水機



さんのみや みか
三宮 美香議員



Q 地球温暖化に伴い熱中症による死亡者が高水準で推移している。令和3年に環境省・文部科学省から「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」が出ていたが、令和6年に「追補版」が出されている。普段心がけている熱中症予防行動では不十分な状況と変化している。町内の学校に冷水器の設置や登下校時の服装を体操服でも可能にできないか。

A 現在の取り組みは水筒等の持参や保冷剤・保冷庫の整備など。水分補給スタンド・冷水器の設置については民間との連携を視野に入れながら導入について調査研究する。

登下校時の服装については、学校・生徒会と協議していく。

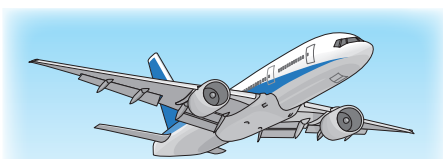
(教育長)

その他の質問

- ・歴史文化の担い手育成の取り組み
- ・いつまでも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを選択できる町にするには

Q 熊本空港周辺の飛行機騒音問題に対応を

A 基準の見直し、対策、保証が必要と考える



30年後の目標値	
● 旅客数	622万人
● 貨物量	4.2万t
● 路線数	28路線
● 便数	433便
● SkyTrax	5スター取得
● 総合満足度	8.0取得

その他の質問

- ・ 町民の移動手段をまもるために、ライドシェアの取り組みを
- ・ 大津町の今後の農業の展望は

やまもと ふじお
山本 富二夫議員



議会議場活性化

定例会総括

委員会レポート

一般質問

追跡レポート

大学生レポート

Q 阿蘇くまもと空港は毎日約80便が就航し、岩坂、中島両区より騒音問題を解決してほしいとの声があがっている。

A 2023年度旅客数は320万人、30年後に620万となる目標が示されており飛行機の便数も大幅に増加すると言われている。

貨物輸送も多く、自衛隊の重点空港でもあり、日々飛行機の騒音が住民を悩ませている。

町は地元住民との対話不足なのではないか。地元住民は説明を求めている。安全対策や国、県との協議などの対策をすべき。

A TSMCの進出で工場立地が加速、阿蘇くまもと空港では客貨の両面で国際空港化に動いており熊本と台湾相互の国際交流が活発に行われ利用客も333万人を上回る。

国や県に騒音対策をしてもらうためには、騒音基準の見直しが必要であり、地域住民の生活改善には基準の見直しあるいはそこにこだわらない対策、補償等が必要と考える。

(町長)

A 引き続き騒音測定では測れない騒音被害の実情と、地域住民の意見を国は県に対して伝える。

(住民生活部長)

Q 中九州横断道路、新しい「大津インター」へのアクセス道路が必要

A 新しいインターチェンジ合流地点を注視して既存道路との連結を協議する



あらき としひこ
荒木 俊彦議員



Q 合志方面から高規格道路が国道325号線まで着工され、さらにホンダ技研北側を通って「北側復旧道路」への連結道路の測量、設計が始まる。「北側復旧道路」のインターはミルクロードの交差点だが、高規格道が連結されれば、北側の平川方面に新しく「大津インター」ができる。

ミルクロード交差点から新しいインターまで般道にして、農免道路と連結するアクセス道路を今のうちに国・県に要望したらどうか。

平川・矢護川・真木方面への南北道路にもつながり、北部地域への人口定住増につながると思う。

A 中九州横断道路は地域高規格道路として熊本・大分両県を結ぶ路線であり「大津熊本道路及び大津道路」の早期着工、全線の早期完成を目指している。

今後、整備計画が実現具体化されていく新規のジャンクションやインターチェンジなどによる合流地点の位置、性能を注視しながら地域の活性化につながるよう既存の道路等を利用した整備などについても九州地方整備局と協議していく。

町では他にも新たな開発計画なども出ているので、しっかりと国にも伝えながら、協議を進めていきたい。

(町長)

その他の質問

- ・ 肥後大津駅周辺の小・中・高校生通学路の整備に児童生徒の意見を聞いたらどうか
- ・ 日曜日に役場開庁の要望あり（菊陽町・合志市のように）

Q 地域住民が安心できる取り組みを

A 地域と連携し、しっかりと進める

たしろ げんき
田代 元気 議員



工業団地予定地

その他の質問

- ・任意接種ワクチンの助成について

Q 昨年の計画発表から1年が経過した杉水地区に計画中の工業団地整備について、地権者や地域住民からは不安の声が多数聞こえている。

代替地の確保が難航し、当初の予定より大幅に遅れているように感じるが、令和9年度の売り出しに間に合うのか。

また、最近の地価の高騰を受け、内諾された人からも売却価格の見直しを検討して欲しいとの声もあるが、再度の不動産鑑定は行わないのか。

併せて、近隣の交通安全対策については先行して取り組んでいく必要があると考える。

A 現状、8割の人からは内諾を得ているが2割の人からは承諾を頂けていない状況である。

今後も地権者からの条件に沿うよう県の農政部局や関係機関と連携し適地選定を進め、早期完成に向け、地元の方々の協力を頂きながら進めていきたい。

再度の不動産鑑定についても、予定地周辺での地価の上昇は事実であるため、担当部局で調査を行い検証・検討を進めていきたい。

(町長)

交通安全対策については、道路の拡幅や歩道の確保を一体的に進める計画をしており、今後も先行して行える対策については継続して行っていく。

(都市整備部長)

Q 創業支援補助金については改善できないか

A 商工会等の話を聞き、見直しを図る

にしかわ ひでつぐ
西川 秀貢 議員



その他の質問

- ・店舗の新築、改装などの融資金利補給制度について

Q 大津町創業支援補助金については、令和5年度の所要綱制定により、申し込み自体ができない事業者が増えたという。まずは申請の段階でいろいろな事業者が手を挙げられるように補助金の制度を改善できないか。例えば、先着順ではなく締切日を複数回設ける、他の国などの補助金との併用を可能とする、補助対象となる各経費関係の上限の扱いを見直すなどできないか。

A 補助金の申請期限については検討する。また、他補助金との併用については、国の補助金など対象外となる小規模な取り組みを支援するため併用不可としているところ。各経費関係の上限値については、公金である補助金を適切かつ有効に使っていただくために区分ごとに上限を設けている。

商工会などの話を聞き、見直しを図る。また、制度の周知も強化する。

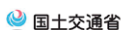
(町長)

Q グリーンスローモビリティの導入を

A 持続可能な公共交通体系を実現する



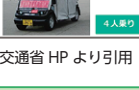
グリーンスローモビリティとは



「グリーンスローモビリティ」：①時速20km未満で公道を走行することができる電動車を活用した③小さな移動サービス

【グリスロの特長】

- ①時速20km未満：道路運送車両法の基準が一部緩和（窓ガラスがなくても公道を走行でき、シートベルトやチャイルドシートの装着も免除）。
- ・観光客が景色を楽しむ、コミュニケーション創出、重大事故発生を抑制
- ②電動車を活用：環境にやさしいエコな移動サービス
- ③小さな移動サービス：従来の公共交通ではカバーしきれなかった短距離のきめ細やかな移動サービス

軽自動車	小型自動車	普通自動車
 4人乗り	 5人乗り	 10人乗り
 4人乗り	 6人乗り	 11人乗り
 4人乗り	 7人乗り	 18人乗り

国土交通省 HP より引用

その他の質問

- ・公園の移動等円滑化について

やまべ 山部 良二議員



Q 「乗合タクシー」や「まちなかバス」では、現在、町全域をカバーしていない致命的な欠陥があると思う。美咲野地区など高台にある地区は、高齢化がこれから進んでいく。グリーンスローモビリティ「通称グリスロ」を利用した肥後大津駅を結節点とした回遊性のある公共交通の構築を推進していく必要があるのではないかと。また、世界かんがい施設遺産など観光振興にも力を入れることのできるモビリティだと考えるが、導入する気はないか。

（総務部長）

A 現在、乗合タクシーと並行して「まちなかバス」の実証運行を行っている。その中で、様々な需要・要望なども出てくると考えられるため、まちなかバスのエリア拡大の有無、他の手法への転換や他のエリアの検討を一体的に公共交通会議などで検討・検証していく。

（町長）

A 観光面については、他の自治体の取り組みを実証・検証しながら町として考えていく。

Q 地下水涵養を維持していくために

A 地域農業の発展につなげていけるように考えていく



おおむら 大村 ゆういちろう 裕一郎議員



Q 地下水保全のため水田湛水事業が行われ、水循環型営農推進協議会においては農家に支払われる金額も上がる方向性が示されている。しかし、そもそもその米の価値が上がらなければ、水田を維持していこうとされる人も減り、地下水涵養に関しても非常に難しくなる。そういった中で、農協と白川中流域土地改良区、大津町、菊陽町が6月よりこのような諸課題への対応を協議することになったが、大津町として協議する場において水田湛水以外で水田を維持するための考えを示すのか。また、水田湛水事業において、米を生産している期間も湛水事業の期間に含められるよう働きかけるべきではないか。そして、米（水田）に関しては動き

が見られるが、今後、他の農畜産物へ波及する考えはないのか。

A 設立される協議会において米生産過程で実施される地下水涵養に対する協力を生産農家に交付するウォーターオフセット事業を提案している。「減少傾向にある水稲農家が米の栽培を続けることによって既存の涵養を守る」という視点で、協議会において新たな取り組みの検討・実施を働きかけていく。現在のところは主食用米に限定した取り組みとなっているが、涵養という観点から水田を活用して生産される農畜産物によるウォーターオフセット事業として消費拡大や地産地消の取り組みを拡大させ、地域農業の発展につなげていく。

（町長）

その他の質問

- ・小学校の児童数減少について

教育者に欠かせない生成AIの知識について 外国人犯罪について



ながた 永田 かずひこ 和彦議員

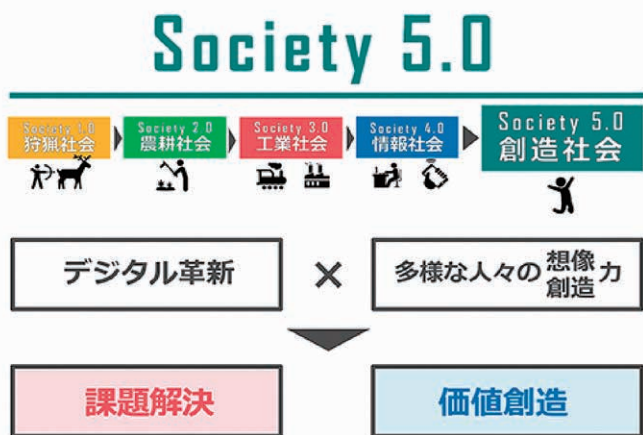
論点

○ 変わりゆく社会の現状と今後の方向性を知らずして教育は成り立たない。
また、教える側の教員に知識が欠如していれば生徒が育つわけがない。

論点

○ 外国人材の受け入れ拡大や訪日旅行ブームにより、急速に多国籍化が進む一方で、地域社会では数々の摩擦も起き外国人犯罪は増加し「多文化共生」など聞くも白々しく、住民の生命と財産を守ることは出来るのか。

※ 録画配信をご覧ください！



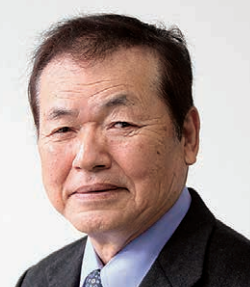
きらぼしコンサルティング HP より引用

Q 身体障害者福祉会存続への町の対応は

A 関係機関とも連携し支援していきたい



さかもと のりみつ 坂本 典光議員



障がい者手帳

Q 人は希望がないと生き生きと生きていけない。障がいがあっても持てる能力を精一杯生かして一生懸命生きている姿は人々の感動と尊敬を生む。

同じ障がいを持った人々たちによるコミュニケーションの場は大事である。町に障害者手帳を持った人はたくさんいる。この福祉会の会員は8年前には100人ほどいたが、現在は40人ほどしかない。町の手伝いがないとなくなってしまう。

A 会員が減少していることは認識している。町では現在、情報提供の環境として、身体障害者手帳を交付する際に、身体障害者福祉会のチラシを窓口で配布している。今後は団体などと対話をして町の広報誌などを活用した積極的周知を行うとともに、社会福祉協議会とも連携し、一層の支援をしていきたい。(町長)

その他の質問

・大津大好き人間を育てる



どうなった？ 追跡 あの質問の行方

過去の一般質問や委員会審査で議員が行った町への提案が、実際にどのように町政に反映されているのかを追跡調査してお知らせします。

令和5年12月定例会

町内の中高生によるジュニアリーダー夢議会でも中学校部活動の地域移行に関する質問がされた。令和5年度より地域移行が始まるが町での取り組みは。

質問

今年度中に第1回の検討委員会を開催する予定です。
まずは「段階的な休日の地域移行」を進めてまいりたい。

答弁

令和5年12月定例会

子育て支援センターは平成21年開所から床のコンクリートを覆う絨毯や室内遊具の修復交換がされていない。安全性の面で心配である。

親子の居場所、保護者同士の交流の場として安全安心に利用していただけるように修繕等、しっかり対応していきたい。

あれから・・・こうなっています！

検討委員会を開催

令和8年度から町内中学校部活動の休日の活動を地域へ移行することを目標とし、町内スポーツ・文化団体、学校関係の代表で構成した「大津町部活動地域移行検討委員会」を5月に開催しました。今後も検討を重ね体制づくりを進めていきます。



7月に工事

令和6年7月から床張り替え工事予定です。



若者の視点

尚綱大学生によるレポート 35

大津町議会（一般質問）オンライン傍聴の感想

さる6月10日～12日に行われた大津町議会一般質問セッションをオンライン傍聴しました。初めて議会をオンライン傍聴した大学1年生の感想を一部ご紹介します。



初めての議会オンライン傍聴の感想



打出 滯

私は今回初めて大津町議会をオンラインで傍聴した。実際に議会に行って傍聴するのは緊張感があり、とてもハードルが高そうだが、こうしてオンラインで議会を傍聴することはパソコンやスマートフォンから視聴することができるので、自分の好きな時間に気軽に傍聴できた。また、録画配信を探すのに会議名や議員名、用語から探すことができ、気になった議員さんの質問を約1時間視聴できるのは録画配信のいいところだった。

今回、荒木俊彦議員の一般質問を視聴した。まちづくり基本構想、肥後大津駅周辺と各学校への通学路について質問されていたが、町長、教育長、都市整備部長がその質問に対し真剣に考えていたところがとても印象に残った。学生の通学路にも気にかけて安全に通えるように、また子どもたちの気持ちもよく考えてあげようとし、真剣に向き合っている姿勢は町民からしたらうれしいものと思った。通学路は学生だけではなく、通学路を使って通う学生の親も心配するようなことなので早く解決したほうがいいと思った。

全体の感想



米原 希咲

初めて議会を傍聴した。テレビなどで流れる国会の議会では、議員の話に対してやじが飛んだりし、荒れているイメージがあった。しかし、大津町の議会は、質問があるときは、挙手して発言したりし、とても秩序ができていたと思った。また、発言の前に資料のページなどが示されており分かりやすかった。内容も簡潔にまとめられていて聞きやすかったと思った。

山本議員～飛行機の騒音問題～

この質問を取り上げた理由を述べてから質問しており、分かりやすかったと思った。また、飛行機の騒音問題では、実際に山本議員も外で話しているときにお互いの声が聞こえなかったくらい音が大きかったと説明されており、どのくらい音が大きいのか理解しやすかった。

三宮議員～小中学校の熱中症対策～

三宮議員の一般質問では、「資料1を見てください」などと資料番号を明確に示し、説明を行っているところは分かりやすかった。また、三宮議員の質問内容は、議員目線と親目線の両方をうまく取り入れているものであり、地域に寄り添った質問だったと思った。

大津町議員との意見交換会

島村 愛優 「若者が政治に関心をもってもらうために」

尚綱大学の学生と大津町の議員との意見交換会は毎年開催されていて、学生の視点を得るために意見交換会をしているようだ。今回の意見交換会では、議員になった理由や、やりがいなどを聞いたり、『おおづまち議会だより OZU』について意見を出したりした。

議員になった理由は、政治に関心な人が多く、関心をもってもらうためという議員がいた。やりがいでは、町民からの感謝や、町民の思いが叶ったときだと述べていた。

『おおづまち議会だより OZU』について、率直な感想や、もっとこうしたほうがいいところについて出し合った。議員が、良いところも悪いところを教えてほしいと述べた。

このように議員は、若者が政治に関心をもってもらうために、議員になったり、学生の視点や考えを知ったりしていると思った。

感想 議員は固いイメージだったが、意見交換会をしてイメージが変わった。お年寄りのために小さいごみ袋を作ろうとしていて、小さいことまで取り組んでいて驚いた。議員が、若者が政治に関心をもつように工夫しているので、私もニュースを見たり、選挙に行ったりしようと思う。

山中 萌百果 「意見交換会での分析と感想」

意見交換の話題となった「議員だより」では、議員のこだわりが垣間見えた。文字や写真などの配置や文字の大きさ、フォント、細かいところまで工夫して作成していることが分かった。特に議員が写真や文章を用意している一般質問の欄では、生徒から見た率直な意見を書いて伝えていった。その時も生徒の意見を否定はせずに、普段彼らが行っているであろう市民との交流のように話を聞いていたことが印象的であった。用紙に思うままに意見を書いた付箋を貼っていき、若者からの視点として文章やインターネットの活用法などを伝えていったのが印象的であった。しかし、紙冊子でのこだわりを持ちすぎているようにも感じられた。現代ではインターネットが普及しており、若者は大抵ニュースを見としてもインターネットを活用するであろう。そのため、紙では若者は手にする機会は少ないのではないかと考えた。

私が思っていた町の議員のイメージは、堅苦しくそれでいて少し無責任さがあるというものであった。しかし実際に交流してみると、イメージとは裏腹に親しみやすく、議員でありながらも町の一員としての自覚をもって仕事に取り組んでいるのだらうと感じた。そのような議員がいることで市民は暮らしやすく、意見も盛んに伝えられる状況にあるだろう。私もこの交流を通して、対応の良い議員のいる町に住んでみたいという気持ちがわいたため、どの地域でも意見を持ち伝えられる環境になっていきたいと思った。

議 会 を 観 て の 生 の 声

6月定例会の傍聴者数のべ49人、ライブ配信再生回数682回 録画配信再生回数197回(7/11時点)

議会とは身近な存在でした



たしろ よう こ
田代 洋子さん
(室)

一般質問を友人と一緒に初めて傍聴しました。テレビで観る国会のように、ヤジが飛んだりして雰囲気の良い場面を想像していましたが、全く違いました。一人の議員が町のことについて質問して、町長・教育長・部長さんたちが丁寧に回答していました。見知った顔の部長さんもいて、質問内容も身近なことだったので、議会は遠い世界のことだと思っていましたが、自分の生活に関わりがあることを話されているのだと実感しました。

友人も関心を深めたようで、その後、議員さんたちと話をすることもでき、町のことを一緒に考えることができる身近な存在だと思いました。また、傍聴しようと思います。

大津町議会を傍聴して…



よし たけ とし お
芳武 敏雄さん
(つつじ台)

6月上旬、議会の傍聴に出かけました。近年の大津町の変貌は加速度を増し、発展への期待と生ずる摩擦の現状を知りたかったからです。議会では華やかさの影にある住民の生活にフォーカスする質問が多く、企業進出による渋滞の問題やインフラ整備、住宅問題等、真摯な討議が続きました。私の住んでいる地区の課題とも重なり、町政の在り方と展望を肌で感じる機会でした。自分の意見やビジョンをしっかり持つことの大切さを改めて実感できました。

次回定例会は

9月4日(水)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 9月4日(水)～18日(水)(予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編 集 (委員長) 三宮 美香 / (副委員長) 豊瀬 和久
(委 員) 時松 智弘 / 田代 元気 / 大村 裕一郎
発行責任者: (議 長) 桐原 則雄

令和6年8月1日 第108号 発行 / 熊本県菊池郡大津町議会
編集 / 議会広報編集特別委員会 印刷 / 株式会社キャップ

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

●●●●● 編 集 後 記 ●●●●●

▼パリオリンピック・パラリンピックが開幕し、大津町にゆかりのある方も出場し、町民の期待も大きいことでしょう。是非ともメダルを持ち帰って頂けるよう、私も一町民、一応援団としてしっかり応援したいと思います。▼今任期中に発行される議会だよりは今回号を含め、残り3号となりました。町民のみなさまに親しんで読んでいただける広報誌をめざして取り組んで参りましたが、いかがだったでしょうか。残りの議会だよりも町民のみなさまに読みやすく伝わりやすい広報誌となるよう精進して参ります。(田代 元気)